

2023 年度 第 3 回阪大本番レベル模試 世界史 採点基準

株式会社ナガセ 東進 コンテンツ本部 世界史科 23/10/30

◆以下の採点基準は原則です。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

※ 判読のつかない字は加点しない。

※ 漢字の軽微なミスは2点配点の場合、1点減点とする。ひらがな表記は加点しない。

※ カタカナ表記の軽微なミスは2点配点の場合、1点減点とする。

※ 番号で答える問題は、正答の語句を書いても加点しない。

(I) 東西交流の発展 (配点 35 点)

問1 4 点 (両方できて正解とする)

問2 6 点

問3 25 点

問2 6 点満点

- ① マニ教は3世紀に成立したこと…2点
- ② マニ教はササン朝で成立したこと…2点
- ③ マニ教はゾロアスター教をもとにキリスト教・仏教の要素を加えて成立したこと…1点
- ④ マニ教の創始者はマニであること…1点
- ⑤ マニ教はササン朝では弾圧されたこと…1点
- ⑥ ソグド人が内陸アジアにマニ教を伝えたこと…2点
- ⑦ ソグド人は交易活動(商業活動・貿易活動)に従事していたこと…1点
- ⑧ マニ教はウイグルで国教とされたこと…2点

問3 25 点満点

- ① モンゴル帝国では駅伝制が導入されていたこと…2点
- ② モンゴル帝国の駅伝制はジャムチ(站赤)と呼ばれていたこと…2点
- ③ 駅伝制では街道に宿駅を設けたこと…1点
※宿駅で馬などを提供したなど、駅伝制の説明が書かれたものも同様に1点加点する。
- ④ 軍事的緊張が和らぎ、交通路の安全が確保されたこと…1点
- ⑤ 元代には大都を中心に駅伝制が整備されたこと…2点
※大都に関する言及がない場合は1点とする。
- ⑥ 大運河の補修が行われたこと…2点
- ⑦ 大都につながる新しい運河が開かれたこと…1点
- ⑧ 元代には海運が発展したこと…2点

- ⑨ ⑥～⑧などによって、大都と江南が結ばれたこと…2点
- ⑩ フビライの海路での遠征によって、海路が確保されたこと…1点
- ⑪ ⑩によって、大都が東南アジア・インド洋と結ばれたこと…2点
- ⑫ ①～⑪などによる交通路の確保によって遠距離交易が活発になったこと…2点
- ⑬ 遠距離交易に活躍したのは、ウイグル商人であったこと…2点
- ⑭ 遠距離交易に活躍したのは、ムスリム商人であったこと…2点
- ⑮ 海上交易では、(資料1にでてくる) 宝石・真珠・胡椒をあつかったこと…1点
- ⑯ 海上交易で泉州が繁栄したこと…2点

※泉州を(資料1通りに) ザイトゥンと表記した場合は加点しない。

※泉州という都市名を書かずに、広州、杭州などの都市名を書いた場合は、ザイトゥンが泉州であることがわからなかったと判断し、加点しない。

※泉州という都市名を書いたうえに、広州、杭州などの都市名を書いた場合は、1点加点する。

- ⑰ 元代には貨幣経済が発展したこと…1点
- ⑱ 元代には都市・港湾・関所で徴収されていた税を廃止したこと…1点
- ⑲ 元代では銀を基本的な貨幣としていたこと…2点
- ⑳ 交鈔と呼ばれる紙幣を発行したこと…2点
- ㉑ 交鈔は銀との交換が保証されていたこと…2点

(Ⅱ) 宗教戦争の時代 (配点 25点)

問1 6点

- 問2 (1) 7点
(2) 2点
(3) 2点 (「ボダン」, 「ジャン・ボーダン」等も可)

問3 8点

問1 6点満点

- ① ヘンリ8世が改革を行ったこと…1点
- ② 改革の原因は、ヘンリ8世の離婚問題であったこと…1点
- ③ 改革の結果、国王至上法(首長法)が定められたこと…2点
- ④ ③の法で、イギリス国内の教会の首長は国王であるとされたこと…2点
- ⑤ 改革の結果、イギリス国内の教会はローマ教皇から自立したこと…1点
 ※「教皇から自立」は、「教皇から独立」「教皇と絶縁」などの表現でも可。
 ※「カトリック教会から自立」「カトリック教会から離脱」などの表現も可。
- ⑥ 改革の結果、イギリス国教会が成立したこと…2点
- ⑦ 改革の結果、修道院が廃止(土地財産が没収)されたこと…2点

- ⑧ 改革の結果、君主が国内の人々の信仰を監督するようになったこと…2点
- ⑨ 改革の結果、君主が国内の教会を監督するようになったこと…2点
- ※⑧、⑨は、どちらか一つが書かれていれば2点、二つ書かれていても2点とする。
- ※「監督」という表現にかえて「管理」「統制」などの表現でも可。
- ⑩ ⑧、⑨によって、君主の支配権が強化されたこと…1点
- ⑪ ⑧、⑨の動きはドイツなどでも見られたこと…1点

問2 (1) 7点満点

- ① フランスの出来事であること…1点
- ② 16世紀後半の出来事であること…1点
- ③ この宗教戦争はユグノー戦争であること…1点
- ④ ユグノーとは、カルヴァン派(プロテスタント, 新教徒)の信徒であること…1点
- ⑤ ユグノー戦争の原因は、ユグノー(カルヴァン派)とカトリック教徒の対立であること…1点
- ⑥ ユグノー戦争の原因は、大貴族の勢力争いであったこと…1点
- ⑦ ユグノー戦争中にサンバルテルミの虐殺が起こったこと…1点
- ⑧ サンバルテルミの虐殺は、カトリック教徒がユグノーを襲った事件であること…1点
- ⑨ ユグノー戦争には諸外国の介入があったこと…1点
- ※「スペインがカトリック勢力を支援した」「イギリスがプロテスタント勢力を支援した」など具体的な記述も可。ただし、具体的な記述がいくつ記されていても1点とする。
- ⑩ ユグノー戦争中にヴァロワ朝が断絶したこと…1点
- ⑪ ユグノー戦争中にブルボン朝が始まったこと…1点
- ⑫ ブルボン朝の初代国王はアンリ4世であったこと…1点
- ⑬ アンリ4世はユグノーであったこと…1点
- ⑭ アンリ4世はカトリックに改宗したこと…1点
- ⑮ アンリ4世はナントの王令(勅令)をだしたこと…1点
- ⑯ ⑮の王令によって、ユグノーの信仰の自由が認められたこと…1点
- ⑰ ⑮の王令によって、ユグノー戦争はおさまったこと…1点

問3 8点満点

- ① この宗教戦争は三十年戦争であること…1点
- ② 戦争の変質をもたらすきっかけとなった出来事は、フランスが新教側で参戦したこと…2点
- ③ フランスは旧教国であったこと…1点
- ④ フランスのルイ13世(宰相リシュリュー)が三十年戦争に介入したこと…1点
- ※ルイ13世、リシュリューいずれかの名が書いてあれば1点加点する。

- ⑤ フランスはハプスブルク家に対抗するため参戦したこと…1点
 ※「ハプスブルク家に対抗する」という表現のほか、「ハプスブルク家に打撃を与える」、「ハプスブルク家と覇権を争う」などの表現でも可。
- ⑥ 三十年戦争はウェストファリア条約で終結したこと…1点
- ⑦ 三十年戦争の結果、神聖ローマ帝国内の領邦に主権が認められたこと…1点
- ⑧ 神聖ローマ帝国は事実上崩壊したこと…1点
 ※「崩壊」のほか「解体」「消滅」などの表現でも可。
 ※「神聖ローマ帝国が名目的(有名無実)なものになった」などの表現でも可。
 ※「事実上」と書かず、単に「崩壊」「解体」とした場合は、加点しない。
- ⑨ 神聖ローマ帝国は、普遍的権威をもち、主権国家ではなかったこと…1点
- ⑩ ⑧に関連して、ハプスブルク家の勢力が衰退した(フランスの優位が確立した)こと…1点
- ⑪ ウェストファリア条約によって、スイス・オランダの独立が認められたこと…1点
 ※スイス・オランダいずれか一つ書かれていれば1点加点する。
 ※スイス・オランダという具体的な国名を書かず、「新しい独立国が認められた」などの表現でも1点加点する。
- ⑫ 三十年戦争の結果、ヨーロッパで主権国家が並立(分立)するようになったこと…1点
- ⑬ 主権国家には、明確な主権・明確な領域が存在すること…1点
- ⑭ 主権国家が並立(分立)する状況を主権国家体制と呼ぶこと…1点
- ⑮ 主権国家体制のもとでは、主権国家が自国の利益を追求する国際政治が行われたこと…1点

(Ⅲ) ロシアと清の関係 (配点 40点)

問1 2点

問2 38点

問2 38点満点

【ネルチンスク条約について】

- ① ネルチンスク条約を結んだこと…2点
- ② ネルチンスク条約は、1689年に結ばれたこと…1点
- ③ ネルチンスク条約は、東部の国境を画定したこと…2点
- ④ ロシアのピョートル1世(大帝)、清の康熙帝の治世であったこと…1点
 ※ロシアのピョートル1世、清の康熙帝のいずれか一人の名が書かれていれば、1点加点する。
- ⑤ ネルチンスク条約の国境は、アルグン川であったこと…2点
- ⑥ ネルチンスク条約の国境は、スタノヴォイ山脈(外興安嶺)であったこと…2点

- ⑦ ネルチンスク条約では両国間の通商の規定があったこと… 1点
※「通商の規定」以外でも「亡命者の処遇」など、国境画定以外の規定があったことが書かれていれば1点加点する
- ⑧ ネルチンスク条約は、清がヨーロッパ諸国と結んだ最初の条約であったこと… 1点
- ⑨ 清は国境を有利に画定したこと… 2点
※「ロシアの南下を防いだ」などの表現も可。

【キャフタ条約について】

- ① キャフタ条約が結ばれたこと… 2点
- ② キャフタ条約は、1727年に結ばれたこと… 1点
- ③ キャフタ条約は、西部（モンゴル）の国境を画定したこと… 2点
- ④ 清の雍正帝の治世であったこと… 1点
- ⑤ ロシアの南下を防いだこと… 2点
※このことを、ネルチンスク条約で触れている場合、二重に加点することはしない。
- ⑥ キャフタ条約によって、ロシアと清の関係は、19世紀半ばまで安定したこと… 1点

【アイグン条約について】

- ① アイグン条約を結んだこと… 2点
- ② アイグン条約は、1858年に結ばれたこと… 1点
- ③ アイグン条約は、アロー戦争の時に結ばれたこと… 1点
- ④ ロシアのムラヴィヨフが結んだこと… 1点
- ⑤ ムラヴィヨフは東シベリア総督であったこと… 1点
- ⑥ アイグン条約によって、アムール川（黒竜江）以北がロシア領になったこと… 2点
- ⑦ アイグン条約によって、ウスリー川以東がロシアと清の共同管理となったこと… 1点
※「共同管理」は、「共同管轄（地）」などの表現も可。
- ⑧ ウスリー川以東を沿海州と呼ぶこと… 1点
- ⑨ ロシアの領土が大きく拡大したこと… 2点
※「ロシアが南下した」などの表現も可。
※「ネルチンスク条約で画定された国境が大きく変わった」などの表現は1点とする。

【北京条約について】

- ① 北京条約を結んだこと… 2点
- ② 北京条約は、1860年に結ばれたこと… 1点
- ③ 北京条約は、イギリス・フランスと清との（アロー戦争の）講和を調停した見返りとして結ばれたこと… 1点
- ④ 北京条約によって、沿海州（ウスリー川以東）がロシア領になったこと… 2点

- ⑤ 沿海州にウラジヴォストーク港を建設したこと… 2点
- ⑥ ウラジヴォストーク港は不凍港であったこと… 1点
- ⑦ ウラジヴォストーク港は太平洋進出の拠点となったこと… 1点
- ⑧ ロシアの領土が大きく拡大したこと… 2点
 - ※「ロシアが南下した」などの表現も可。
 - ※「ネルチンスク条約で画定された国境が大きく変わった」などの表現は1点とする。
 - ※このことを、アイグン条約で触れている場合、二重に加点することはしない。
- ⑨ 北京条約の国境が、現在のロシアと中国の東部国境となっていること… 1点

【イリ条約について】

- ① イリ条約を結んだこと… 2点
- ② イリ条約は、1881年（19世紀末）に結ばれたこと… 1点
 - ※「19世紀末」は、「19世紀後半」でも可
- ③ イリ条約締結のきっかけは、新疆で反乱が起こったことであること… 2点
- ④ 新疆でヤークーブ＝ベクが独立政権を樹立しようとしたこと… 1点
- ⑤ ロシアが新疆のイリ地方を占領したこと… 2点
 - ※この出来事を「イリ事件を起こした」と表記することも可。
- ⑥ 清の左宗棠らが新疆を平定したこと… 1点
- ⑦ ロシアはイリ地方の多くを清に返還したこと… 1点
- ⑧ ロシアが有利な国境を画定したこと… 1点

以上